BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : “DARK　PHYSIX　”

COLOR : 3TONE-BLACK

COVER STOCK : NRG™ HYBRID REACTIVE

RG : 2.48(LOW-MED/15P) ⊿RG : 0.053 (MID/15P)

FACTORYFINISH : REACTA GLOSS

TRACKFLAREPOTENTIAL : 6+(HIGH)

BACK END:19.5(1−20)MAX　LENGTH:16(1-20)

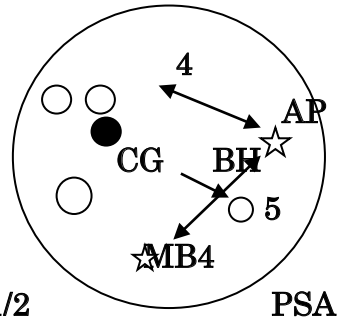
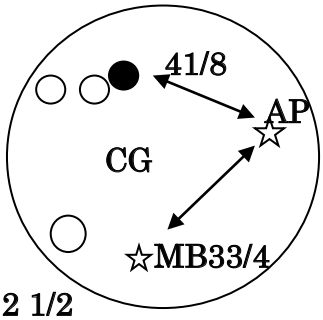
2022 年 12 月 20 日

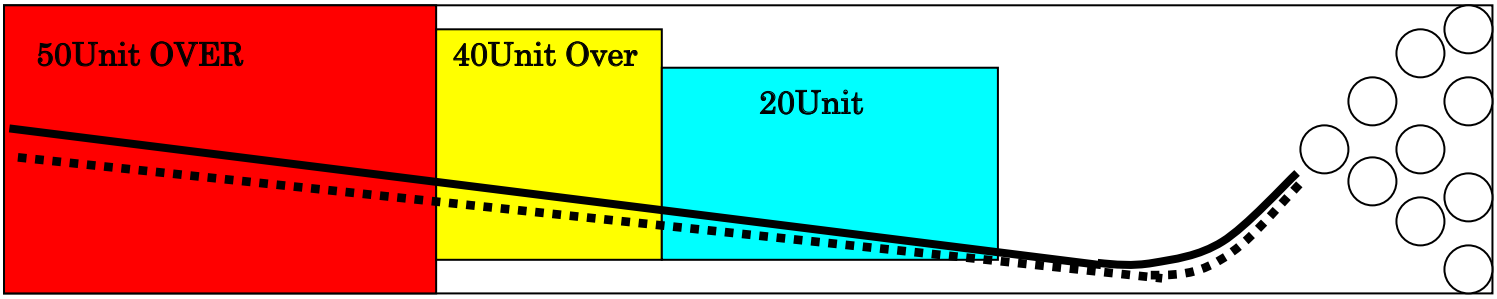
●	LONG			
I	MEDIUM		◎	
L	SHORT		◎	◎
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショングラフ

【MEDIUM　OIL 編】

レイアウト例

	PHYSIX	DARK PHYSIX
		
	PSA　31/2	PSA　2 1/2
	CA55 度	CA52.5 度
ﾌﾚｱｰ幅	最大 6 1/8・間隔 1/8	最大 61/2・間隔 1/8



0F　15F　27F　38F　45F

比較品ライン　DARK PHYSIX　PHYSIX

【製品比較表】

曲がり度　1　2　△3　4　5　　曲がり方　ｱｰｸ　1　2　3　△4　5　ｼｬｰﾌﾟ　ATMIC CORE

スキッド　1　2　△3　4　5　　ｵｲﾙの強　1　2　3　△4　5

ﾋﾟﾝｱｸｼｮﾝ　1　2　3　4　5　　テスト品　○　比較品　△

＊上記の数字は、1 側が少ない(短い・弱い)　5 側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

今回の PHYSIX は初代と同じ NRG HYBRID ですが、初代と比べて表面加工の状況が GLOSS を使用している事もあり、中盤から転がり感が早いのでバックエンドの曲がりは大きく感じました、相変わらず ATOMIC コアの反発係数は良くピンアクションはエゲツナイですね。

【ここがポイント】

何年たっても PHYSIX シリーズは最高のパフォーマンスを出すアトミックコアですが、今回初代のイメージそのままに最新鋭表面加工 REACTA GROSS を使用してる事もあり、中盤からの転がりに磨きをかけ近代ボウリング事情のレーン手前ではスムーズな効果が得られるので投げ易くピンが飛ぶボールに仕上がっています。もともと重量コアのアトミックは横に曲がりが出るより前進性能にたけているボールですが、全体的な動きは滑らかで更にオイルの段差も感じずらい分初代と比べて投げ易さも感じます。今回色味も 3 トーンブラックと言う事もありレーン上での軌道がハッキリするので若干の切れも感じられます、でもやはりこの製品の売りはピンアクションですね、ホントに飛びます。

発売予定：2023 年 4 月中旬　テスト協力センター：アイビーボウル向島　販売価格　￥61,600 円（税込）

テスター　石原　章夫プロ【HIGH SPORTS 専属契約プロ】